

ふくしまの食育

未来を担う健康でたくましいふくしまっ子の育成を目指して

ふくしまっ子食育指針

近年、これまでの児童生徒の食習慣の乱れや肥満傾向の問題等に加え、新型コロナウイルス感染症などによる生活習慣や消費行動等への影響、体力低下や伝統的食文化の継承など、新たな課題への対応も求められ、変化に対応した食育の推進が必要となっています。

『食育』は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、生涯を通じて食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるとともに、社会全体で食育を実践できる環境を整備することが重要です。

福島県は、国の「第4次食育推進基本計画」を踏まえ、ライフステージに応じた切れ目のない食育の推進を図るため「第四次福島県食育推進計画」を策定しました。

県教育委員会においては、**未来を担う健康でたくましいふくしまっ子**の育成を目指すために、学校における食育の方向性を「ふくしまっ子食育指針」で示し、取り組んできました。今後も、本指針をもとに、幼児・児童生徒や学校、地域の実態に応じ、教育活動全体を通して食育が展開できるよう、指導体制の整備に一層努め、学校、家庭、地域が一体となって、未来へつなぐ食育を積極的に推進します。